

(仮称) 米山小学校の校章の補作について

■ 前回委員会で「好評だった案」として挙げられた「補作4」と「補作7」をベースに微調整、修正をかけました。補作4をベースにしたものを「補作ⅢA」、補作7をベースにしたものを「補作ⅢB」としています。それぞれの案について、個人的に感じていること等を以下の通りまとめてみましたので、あくまでも一意見としてご確認いただけますと幸いです。

	補作ⅢA	補作ⅢB
良い点	・3つの校章の要素が、サイズ感的にバランスよく配置されている。 ・B型よりもシンプルであるため、小さくプリントされた時でも視認性が担保される。 ・柗の真ん中の葉っぱの中に「米山」の文字を入れると考えると、Bよりも葉っぱが大きいいため、文字もある程度大きく入れやすい。	・中央に円があるデザインで安定感を感じられる。 ・A型よりも“シンボル感”があるため、親しみやすく、印象に残りやすい。 ・A型よりも公募で選ばれた案に近い。
懸念点	・公募で選ばれた案からはやや飛躍したデザインとなっている（生徒作の原案とはそこまで離れていない）。	・柗の葉脈の模様まで取り入れると、デザインがやや複雑になってしまう。 ・「米山」の文字をやや大きく入れにくい。

■ 「米山」の文字は今回省略しています。文字の形や色合いが与える印象もかなり大きいので、修正の効率的に、文字以外の部分が決定した後に考えたいです。

■ デザインに使用している色について、彩度・明度の調整は簡単にできます。

Ex. 「もっとピンク色を薄くしてほしい」「エンジ色の赤みを強くしてほしい」 など